

最初にお読みください

●ご使用前に、「安全にお使いいただくために必ずお読みください(別紙)」、「最初にお読みください(本紙)」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
 ●お読みになった後も、本製品のそば等いつでも手もとに置いてお使いください。
 ●イラストはイメージであり、実際のデザインと多少異なる場合があります。

NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様か、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせて、サービスをご提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を「光コラボレーション事業者様」といいます。
 光コラボレーション事業者様名については、(NTT東日本: <https://flets.com/collabo/list/>、NTT西日本: <https://flets-w.com/collabo/list/>)にて最新の状況をご確認ください。
 本紙に記載されている「フレッツ光」や「ひかり電話」や「付加サービス（ナンバー・ディスプレイ等）」は、光コラボレーションモデルによりご提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含みます。
 光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。
 その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名称等は、本紙に記載のとおりです。

本紙内のマーク説明

| | |
|--|---|
| | 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| | お願い この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。 |
| | 注意 本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。 |

サポートセンターのご案内

設定のサポートをご希望の場合は以下の URL へアクセスし対象の連絡先へご連絡ください。

- NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)でご利用のお客様
<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2slim/>
- NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)でご利用のお客様
<https://business.ntt-west.co.jp/support/>

※サポートセンターでの遠隔設定をご希望の場合は、本商品が届きましたらご連絡ください。
 「3. 接続する」の手順 1-4 を行ってからご連絡いただくと、より円滑な対応が行えます。

1. セットを確認してください

本体



alpha Zx II Slim (1台)

付属品

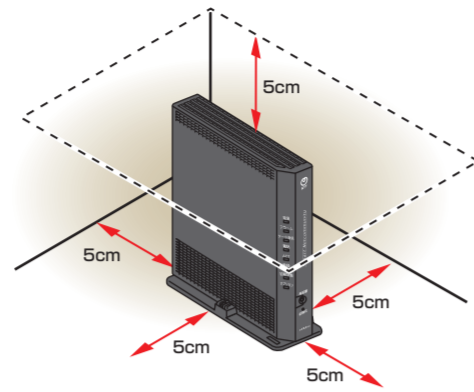
- スタンド (1台)
※ 工事者により取り付け済みの場合があります。
- LANケーブル (1本/約2m)
※ WAN側ポート接続用として付属しています。
- 壁掛け設置用ネジ (2本)
- 電源アダプタ (1式)
※ 電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。
- 取扱説明書 (1式)
※ 最初にお読みください(本紙)
・安全にお使いいただくために必ずお読みください(別紙)
- 保証書 (1枚)

※ セットに足りないものがあった場合等は、サービス取扱所にご連絡ください。
 ※ IP電話機接続用のLANケーブルについては、カテゴリ5e以上のものが利用できます。

2. 設置する

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁等のものがない場所に設置してください。壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



警告

- ・換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、正常に動作しない場合があります。また、故障の原因になります。
- ・本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

お願い

- ・冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。

スタンドを付けて縦置きにする

イラストのように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。壁掛けてご使用の場合は「取扱説明書」(PDF)をご確認ください。



警告

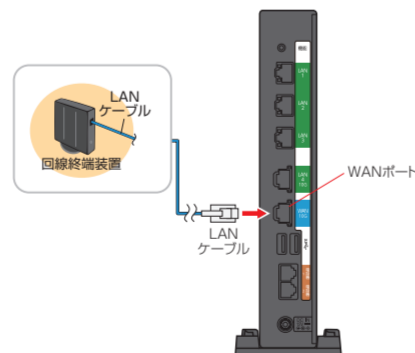
- ・本商品は横置きでの使用はできません。内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。



3. 接続する

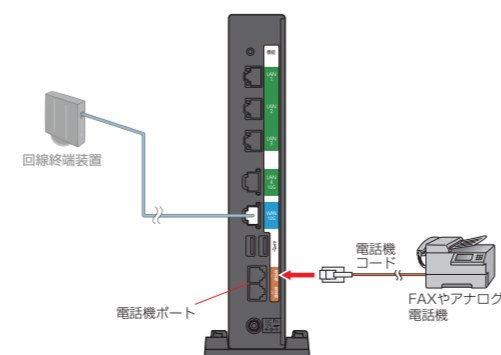
1 本商品を回線終端装置に接続する

回線終端装置と、本商品の WAN ポートを付属の LAN ケーブルで接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



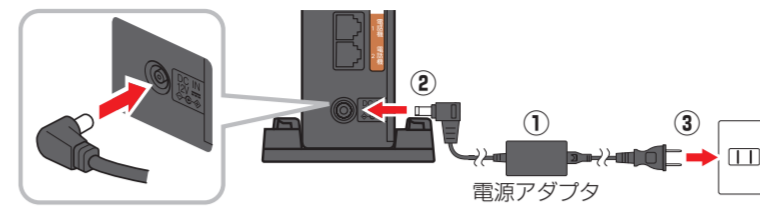
2 本商品をFAXやアナログ電話機と接続する

FAX やアナログ電話機と、本商品の電話機ポートを電話機コードで接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



3 付属の電源アダプタを、本商品と電源コンセントに接続する

- ①電源アダプタと電源コードを接続します。
- ②本商品に電源アダプタを差し込みます。
- ③電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



- ・最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。

警告

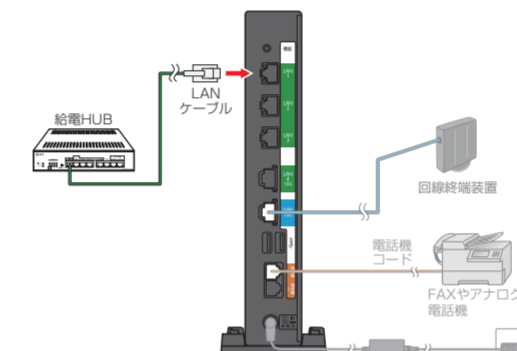
- ・付属の電源アダプタおよび電源コード以外を使用しないでください。また、付属の電源アダプタ、電源コードを他の製品に使用しないでください。

4 本商品前面の電話ランプが緑点灯していることを確認する



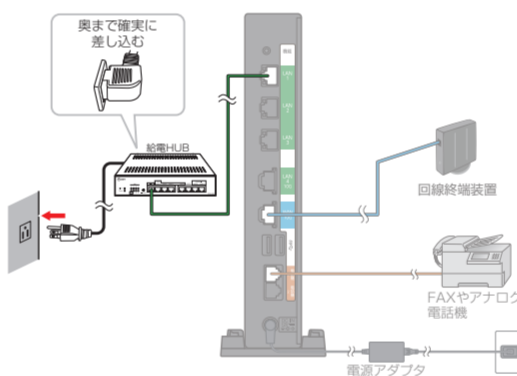
5 本商品と当社が指定した給電HUB (8ポート品/16ポート品) または給電アダプタを接続する

LAN ケーブルで本商品の LAN ポートと給電 HUB の UP-LINK または給電アダプタの HUB コネクターを接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。詳細は、給電 HUB、給電アダプタの取扱説明書をご確認ください。



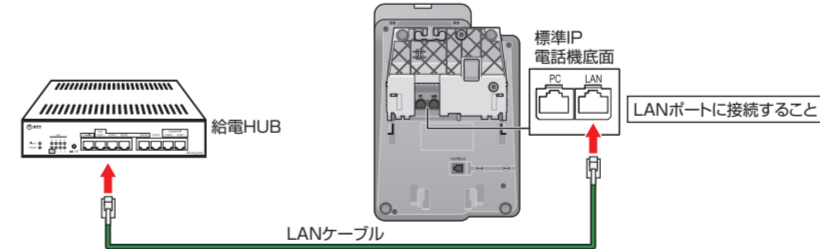
6 給電HUB (8ポート品/16ポート品) または給電アダプタの電源プラグを電源コンセントに差し込む

給電 HUB の背面にある AC ケーブル接続ポートに AC ケーブルを接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



7 給電HUB (8ポート品/16ポート品) または給電アダプタと標準IP電話機を接続する

給電 HUB の PORT1 ~ 7 (8ポート品) / PORT1 ~ 15 (16ポート品)、または給電アダプタの TEL コネクターと標準 IP 電話機底面の LAN ポートに LAN ケーブルを接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。ビジネスフォン機能の内線番号は本商品に登録(接続)した端末順に自動的付与されますので、1台ずつ本商品に登録(接続)を行ってください。



※ IP電話機の内線番号払い出し順については、下の表をご確認ください。

8 標準IP電話機のディスプレイを確認する

標準 IP 電話機のディスプレイに日時と内線番号が表示されることを確認してください。



他にも IP 電話機を利用する場合は、手順 7、8 を繰り返してください。

※ IP電話機の種類によって自動付与される内線番号の払い出し順序が異なります。

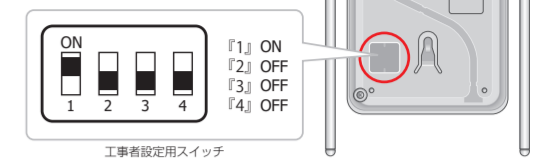
| IP電話機の種類 | ビジネスフォン機能の内線番号払い出し順序 | |
|---------------|----------------------|----------------|
| 標準IP電話機 | 10、11、12… (昇順) | |
| カールコードレスIP電話機 | 10、11、12… (昇順) | |
| DECT方式DIV | コードレス電話機 | 49、48、47… (降順) |
| | コードレス卓上電話機 | 49、48、47… (降順) |
| IP単体電話機アダプタ | 49、48、47… (降順) | |

<ビジネスフォン機能の内線番号払い出し例>
 標準 IP 電話機 (1台目)、DECT方式 DIV コードレス電話機 (2台目、3台目)、カールコードレス IP 電話機 (4台目) の順で登録した場合、ビジネスフォン機能の内線番号は、それぞれ 10、49、48、11 と自動付与されます。

4. DECT方式DIVコードレス電話機(卓上含む)を接続する

※ DECT方式DIVコードレス電話機(卓上含む)を使用しない場合は、裏面へ進んでください。
 ※ ディスプレイ表示、ボタン表示は、DECT方式DIVコードレス卓上電話機の場合を例に説明しています。

1 DECT方式IP-DIVコードレス接続装置底面の工事者設定用スイッチのカバーをはずし、「1」をONに設定する



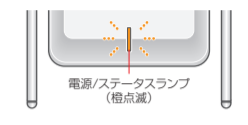
2 DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の背面にあるLANポートと給電HUB (8ポート品/16ポート品)をLANケーブルで接続する

給電 HUB の PORT1 ~ 7 (8ポート品) / PORT1 ~ 15 (16ポート品) に LAN ケーブルを接続します。

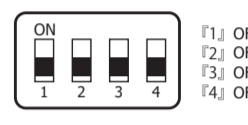


3 DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプが橙点灯→消灯→橙点滅することを確認する

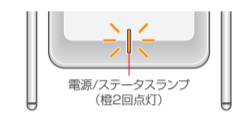
(ランプが橙点滅するまで約40秒かかります)



4 DECT方式IP-DIVコードレス接続装置底面の工事者設定用スイッチの「1」をOFFに設定する



5 DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプが橙2回点灯(周期的に)することを確認する



6 DECT方式DIVコードレス卓上電話機の回線ボタンの8を押しながら電源を入れる*

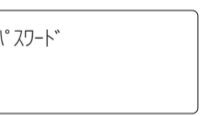
DECT方式DIVコードレス電話機の場合は、回線ボタンの8を押しながら電池パックを取り付ける*

※ DECT方式DIVコードレス卓上電話機の電源の入れ方、DECT方式DIVコードレス電話機の電池パックの取り付け方は、それぞれの取扱説明書をご確認ください。

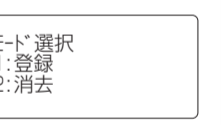


7 DECT方式DIVコードレス卓上電話機/DECT方式DIVコードレス電話機のディスプレイに「パスワード」が表示されたら②④⑥⑧をダイヤルボタンで押す

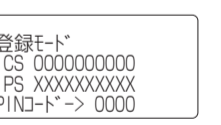
※ 入力してもパスワードは表示されません。



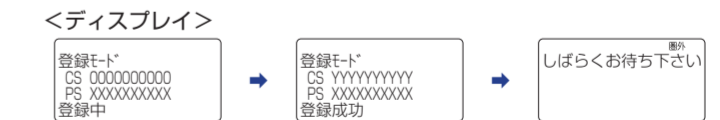
8 DECT方式DIVコードレス卓上電話機/DECT方式DIVコードレス電話機で①をダイヤルボタンで押し、「1:登録」を選択する



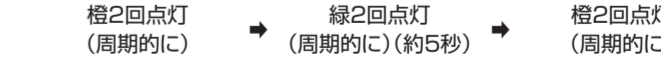
9 DECT方式DIVコードレス卓上電話機/DECT方式DIVコードレス電話機でPINコード①①①①をダイヤルボタンで押し、③を押す



登録が成功するとディスプレイと DECT 方式 IP-DIV コードレス接続装置の電源/ステータスランプは以下のとおり、表示されます。



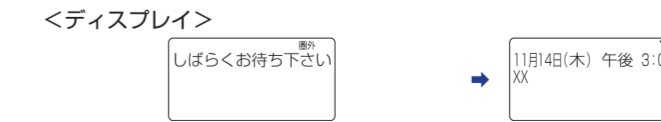
< DECT 方式 IP-DIV コードレス接続装置の電源/ステータスランプ >



※ 複数台の DECT 方式 DIV コードレス卓上電話機/DECT 方式 DIV コードレス電話機を接続する場合は、手順 8-9 を繰り返してください。

10 DECT方式IP-DIVコードレス接続装置のLANケーブルをいったん抜いて差し込む

登録モードから通常モードになるとディスプレイと DECT 方式 IP-DIV コードレス接続装置の電源/ステータスランプは以下のとおり、表示されます。

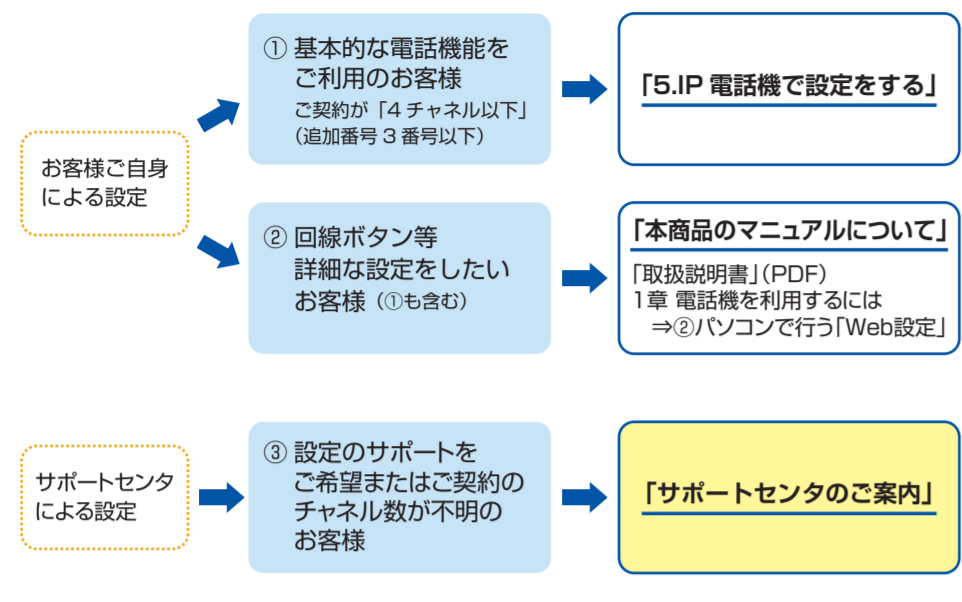


< DECT 方式 IP-DIV コードレス接続装置の電源/ステータスランプ >
 橙点灯 → 消灯 → 赤2回消灯(周期的) → 緑点灯
 (ランプが緑点灯するまで約1分かかります)



IP 電話機を利用するための設定について

本商品の IP 電話機を利用するには、IP 電話機の接続後、チャンネル数 (①) や回線ボタン (②) 等の各種設定を行う必要があります。
サポートセンタによる設定 (③) の他、お客様ご自身による設定の場合、ご契約のチャンネル数 (同時通話数)・追加番号数によって設定方法が異なりますので、ご契約内容をご確認のうえ、以下のいずれかから選択して、設定を完了させてください。



本商品のマニュアルについて

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

- 「最初にお読みください」
- 「安全にお使いいただくために必ずお読みください」
- 「取扱説明書」(PDF)

本商品のマニュアルは、以下のサイトからダウンロードすることが可能です。
■ NTT 東日本エリア (北海道、東北、関東、甲信越地区) でご利用のお客様
<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2slim/>



■ NTT 西日本エリア (東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区) でご利用のお客様
<https://business.ntt-west.co.jp/manual/>



5.IP 電話機で設定をする

IP電話機 (単体電話機除く) の「メニュー設定」から契約チャンネル数、FAX電話番号の設定を行うことができます。

契約チャンネル数を設定する方法

1 **メニュー**を押す

0 **お客様設置**
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 **決定**を押す
または **OK**を押します。

1 **契約チャンネル数設定**
2: FAX電話番号設定
3: お客様設定削除

3 **決定**を押す
または **OK**を押します。

契約チャンネル数設定
チャンネル数(1-4)?

4 契約チャンネル数をダイヤルボタンで押す

番号を押し間違えたときは、**クリア**を押します。

1

1 1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

契約チャンネル数設定
チャンネル数(1-4)?

5 **決定**を押す
「ヒッピッ」という確認音が聞こえ、契約チャンネル数が登録されます。

6 **クリア**を長く押す

11月14日(木) 午後 3:05
10

※ ご契約チャンネル数についてはお客様のご契約内容をご確認のうえ、登録してください。

FAX の電話番号を設定する方法

1 **メニュー**を押す

0 **お客様設置**
1: 電話機毎設定
2: システム一括設定

2 **決定**を押す
または **OK**を押します。

1 **契約チャンネル数設定**
2: FAX電話番号設定
3: お客様設定削除

3 上下ボタンで「2: FAX 電話番号設定」を選択し、**決定**を押す
または **OK**を押します。

FAX電話番号設定
1: FAX1
2: FAX2

4 上下ボタンで登録する FAXを選択し、**決定**を押す
または **OK**を押します。

電話番号入力: 1

5 FAXの電話番号をダイヤルボタンで押す

番号を押し間違えたときは、**クリア**を押します。

1 1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

電話番号入力: 1
031234XXXX

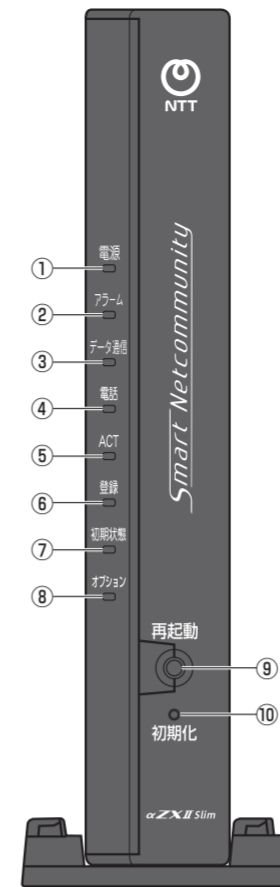
6 **決定**を押す
「ヒッピッ」という確認音が聞こえ、FAX の電話番号が設定されます。

7 **クリア**を長く押す

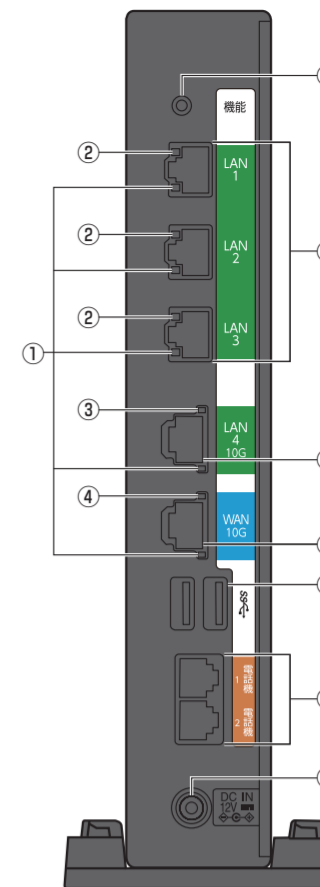
11月14日(木) 午後 3:05
10

各部の名称

● 前面



● 背面



【ランプ表示】

| ランプの名称 | 表示 (色) | 状態 |
|-----------|--------|--|
| ①電源ランプ | — 消灯 | 電源が入っていません。 |
| | 緑 点灯 | 電源が入っています。 |
| ②アラームランプ | — 消灯 | 正常な状態です。 |
| | 赤 点灯 | ファームウェア更新中 (「ファイル指定」、「手動アップデート」のみ) *1 または、障害が発生しています。*2 |
| ③データ通信ランプ | — 消灯 | オフライン状態です。 |
| | 青 点灯 | DS-Liteまたは MAP-E のインターネットが利用できます。 |
| | 緑 点灯 | PPP のインターネットが利用できます。1セッション接続中です。 |
| | 橙 点灯 | PPP のインターネットが利用できます。2セッション以上接続中です。 |
| | 水色 点灯 | DS-Lite と PPP 併用でのインターネットが利用できます。 |
| ④電話ランプ | — 消灯 | ひかり電話が利用できません。*2 |
| | 緑 点灯 | ひかり電話が利用できます。 |
| | 点滅 | ひかり電話で通話中 / 着信中 / 呼び出し中です。 |
| ⑤ ACT ランプ | — 消灯 | 回線終端装置に未接続です。*2 |
| | 緑 点灯 | 回線終端装置に接続中です。 |
| ⑥登録ランプ | — 消灯 | ネットワークから設定情報を取得していません。*2 |
| | 緑 点灯 | ひかり電話の設定完了 |
| | 点滅 | ネットワークから設定情報を取得中です。*2 |
| | 赤 点滅 | ネットワークからの設定情報取得に失敗しました。(その他エラー) *2 |
| ⑦初期状態ランプ | — 消灯 | 通常の状態です。 |
| | 橙 点灯 | ファームウェア更新中 (「ファイル指定」、「手動アップデート」のみ) *1 または、工場出荷状態 (初期化された状態) です。*3 |
| | 点滅 | IPv4 アドレスが重複しています。*2 |
| ⑧オプションランプ | 赤 点灯 | 障害が発生しています。*2 |
| | — 消灯 | 通常の状態です。 |
| | 緑 点灯 | ひかり電話機能 / ルータ機能が利用できません。*2 |

【ボタン名等】

| 名称 | 表示 | 機能説明 |
|---------|-----|--------------------|
| ⑨再起動ボタン | 再起動 | 本商品を再起動するために使用します。 |
| ⑩初期化ボタン | 初期化 | 設定を初期化するために使用します。 |

- *1 ファームウェアの更新中 (「ファイル指定」、「手動アップデート」のみ) はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。
- *2 「取扱説明書」(PDF) をご確認ください。
- *3 本商品が工場出荷状態 (初期状態ランプ橙点灯) でも、電源を入れた後、電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」でサインインすると初期状態ランプは消灯します。
- ※ 本商品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。
- ※ 節電機能動作時は、電源ランプ、ACT ランプ以外のランプが消灯します。
- ※ 本商品の温度が高く、LAN4 ポートのリンク速度が 1Gbps 制限中は、アラームランプ、初期状態ランプが赤点灯します。

【ランプ表示】

| ランプの名称 | 表示 | 状態 |
|-----------------------------|------|---|
| ① LINK ランプ (5 個) | — 消灯 | リンク未確立です。 |
| | 緑 点灯 | リンク確立中です。 |
| | 点滅 | データ通信中です。 |
| ② LAN1 ~ 3 ポート状態表示ランプ (3 個) | — 消灯 | リンク未確立の場合、LAN が利用できません。100Mbps でデータ送受信ができます。 |
| | 橙 点灯 | 1Gbps でデータ送受信ができます。 |
| ③ LAN4 ポート状態表示ランプ (1 個) | — 消灯 | リンク未確立の場合、LAN が利用できません。10Gbps/100Mbps でデータ送受信ができます。 |
| | 橙 点灯 | 10Gbps/5Gbps/2.5Gbps でデータ送受信ができます。 |
| ④ WAN ポート状態表示ランプ (1 個) | — 消灯 | リンク未確立の場合、WAN が利用できません。1Gbps/100Mbps でデータ送受信ができます。 |
| | 橙 点灯 | 10Gbps/5Gbps/2.5Gbps でデータ送受信ができます。 |

【ボタン名等】

| 名称 | 表示 | 機能説明 |
|----------------|----------------|--|
| ⑤機能ボタン | 機能 | 未使用 |
| ⑥ LAN1 ~ 3 ポート | LAN1 ~ LAN3 | LAN ケーブルを使用して IP 電話機 (給電 HUB 配下) やパソコン等と接続するためのポートです。 |
| ⑦ LAN4 ポート | LAN4 10G | LAN ケーブルを使用して IP 電話機 (給電 HUB 配下) やパソコン等と接続するためのポートです。 |
| ⑧ WAN ポート | WAN 10G | LAN ケーブルを使用して回線終端装置の LAN ポートと接続するためのポートです。 |
| ⑨ USB ポート | — | 未使用 |
| ⑩電話機ポート | 電話機 1 電話機 2 | 電話機コードを使用して FAX やアナログ電話機を接続するためのポートです。 (電話機コードは付属していません。) |
| ⑪電源アダプタ端子 | DC IN | 付属の電源アダプタのコネクタを差し込みます。 |

初期化を行う

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または機器設定用パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。初期化すると、それまでに設定した値はひかり電話に関する設定も含めて、すべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

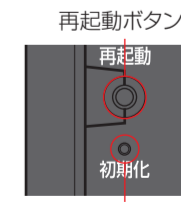
初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定を行うことができます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、電話ランプが緑点灯します。ランプ状態を確認してください。ひかり電話の自動設定が完了した状態でも初期状態ランプは橙点灯します。

【設定初期化について】

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1 本商品の初期化ボタンを押したまま、再起動ボタンを押して放す

初期化ボタンは押し続けてください。本商品前面の全ランプが点灯します。



2 本商品前面の初期状態ランプが消灯後、再度橙点灯したら、初期化ボタンを放す

起動後、初期状態ランプが橙点灯したら、初期化は完了です。



- ※ 初期化が完了するまで本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- ※ 初期状態ランプが消灯後、再度橙点灯するまで 3 分程度かかります。

● 本商品に設定する情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を返却される場合は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。